

北緯40度

そぞろある記



響け風のハーモニー

野田、普代、田野畑村の合唱グループ3団体で構成する「コーラスライオット風（森田真奈子代表、メンバー50人）」の第18回定期コンサートが10月21日、村自然休養村管理センターで開かれました。（写真）

コンサートには同団体と盛岡市の混声合唱団

「北声会」（中野攻委員長）のメンバーが参加。約100人の観客に合唱曲「遠い日の歌」や童話「赤とんぼ」など20曲を披露しました。

三陸鉄道の山口和彦社長も参加し「さんてつでんしゃのうた」を合唱。「北国の春」は会場と一体となってハーモニーを響かせ、最後は「イーハトーブの風」「大地讃頌」を歌いました。



AED講習熱心に

AED（自動体外式除細動機）を使った救急救命講習が10月25日、役場で開かれ、職員20人が参加しました。久慈消防署普代分署員7人を講師に約1時間半、人形を使って気道の確保や心臓マッサージ、AEDの使用方法について学びました。（写真）講習会は役場にAEDが1台あることから、使用方法を繰り返し学ぶことが大切と企画されました。AEDは現在、役場と医科診療所、うねとり荘の3施設に配備されています。

ヤマブドウを収穫

鳥居の正路^{まさかつ}正明さん(70)宅裏にある畑でヤマブドウの収穫作業が10月上旬から行われました。

10月17日は収穫も後半でしたが、深い紫色に熟したヤマブドウを、専用のハサミで丁寧に切り取ってまいりました。（写真）

正路さんがヤマブドウの栽培に取り組んだのは6年前。害虫やいろんな病気などで、なかなかいいものができず試行錯誤していましたが、やっと去年から出荷をはじめ、今年は10^キ入れの箱を100箱出荷しました。「今年は房の大きさ、形が良く出来てよかったです」と正路さんはうれしそうでした。

